

まちの話題

バレーボールで全国高校総体出場

6月8日、宝城中学校出身で、佐賀県の佐賀学園に通う町田菜緒さん(高校2年)が、女子バレーボールでのインターハイ(全国大会)出場を市長に報告しました。

将来もバレーボールを続けることを目標にしている町田さんは、スピードと大胆なプレーが特徴で、得点源としてチーム念願の全国初出場に貢献。「全国の強豪との対戦が楽しみ。ベスト8をめざしています」と、爽やかに話してくれました。

インターハイは徳島県で7月29日開会。小郡からエールを送りましょう！



人権擁護委員に感謝状

5月27日、人権擁護委員の有川政次さんが、長年にわたり人権擁護活動に尽力したとして、福岡県人権擁護委員連合会総会にて表彰を受けました。

市内には、8人の人権擁護委員が法務大臣から委嘱されています。市民の皆さんに人権に関する啓発活動を行っていて、人権が脅かされた場合には相談に応じ救済を図っています。

有川さんは、「活動に対して感謝状をいただき、これからも人権擁護委員の皆さんと協力しながら頑張ろうと心新たにしています」と話しました。



女性と女児の安全安心に役立てて

5月22日、顕彰活動や援助事業を実施している国際ソロプチミスト小郡が認証30周年を迎え、記念式典を開催しました。

式典では、団体が取り組む「女性と女児の安全安心」と「生理の貧困プロジェクト」の一環として、生理用品と防犯灯、避難所に設置するワンタッチパーテーション(計130万円相当)を市に寄贈。田篋久美子会長(写真)は「地域に愛され、親しまれる団体をめざし、女性の生活向上に真心をもって活動してきた」とあいさつし、地域貢献への思いを語りました。

寄贈を受けた生理用品は、生活にお困りの人への支援に活用します。



小郡市環境保全協議会が河川の土砂を無償で除去

6月1日、市内の土木会社などで作る小郡市環境保全協議会が、立石校区を流れる河川の土砂を無償で除去しました。作業場所は鎗巻川の井上地区で、土砂除去区間は約70メートル、土砂除去量は約30立方メートルに及びました。

小郡市は4年連続で大雨被害にあっており「梅雨前に大雨に備えた浸水対策の一環として、地域に貢献できれば」という会の思いから、実現できたものです。作業により河川の水の流れがスムーズとなり、浸水被害の軽減が期待されます。

